

會 告

拜啓陳者昭和四年四月十五日より丸ノ内一帯町名番地改稱實施と相成従つて本會事務所所在地 東京市麴町區有樂町一丁目一番地東七號館は下記之通り變更相成候間此段謹告仕り候 敬具

下 記

改正町名番地 東京市麴町區丸ノ内三丁目二番地
東七號館

社 團 法 人 日 本 鐵 鋼 協 會

追而本會定款第一章第一條中「事務所ヲ東京市麴町區有樂町一丁目一番地東七號館ニ置ク」を「東京市麴町區丸ノ内三丁目二番地東七號館ニ置ク」と改正必然に付き本誌本會々記事 總會決議録に上梓の通り文部省當局及社團法人變更登記申請等手續一切完了仕り候間四月十五日以後變更の事御了承の上御訂正置き相成度重ねて及謹告候也

講演會開催御通知

一開會時日 昭和四年五月二十九日(水曜日)午後四時三十分

一會 場 東京市麴町區丸ノ内三丁目四番地 保險會社協會館二階 大談話室
「東京日日新聞社隣」(省線有樂町驛、より約壹丁、市電、日比谷公園、數寄屋橋、有樂橋、東京市役所前、馬場先門下車)

題目及講演者

歐米に於ける耐火物利用發展の現狀に就いて

八幡製鐵所技師 爐材課長 加藤孝治君

要旨 (一)緒言——各種耐火物の用途使用法——粘土煉瓦は英米、珪石煉瓦は獨逸、マグネサイト煉瓦は埃國産が優良なり、(二)原料——粘土煉瓦原料としての米國のプリント、クレー——英國の下盤粘土——珪石煉瓦原料としての獨逸の移石質珪岩と米國ガニスター珪岩——日本の赤白珪岩——マグネサイト煉瓦原料としての埃國の含鐵菱苦土礦、(三)製作法——原料の取扱——製形——燒方、(四)各國製品の比較——成分——性質等々、(五)結論

以上之通り開催候間何卒多數御誘合の上御來會相成度此段及御通知候也

四 月 八 日 日 本 鐵 鋼 協 會